

令和6年度第4回館山警察署協議会

- 1 開催日
令和7年3月28日（金曜日）
- 2 開催場所
館山警察署
- 3 出席者
・協議会委員 10人 ・警察署 11人
- 4 業務報告
「令和6年下半期における犯罪発生状況」
「令和6年下半期における犯罪検挙状況」
- 5 警察署からの諮問事項
なし
- 6 委員からの要望・意見等

【質問】 自宅周辺には独居の高齢者が多く、最近も死後1ヶ月以上経過して発見された人がいたと聞いた。

警察では巡回連絡などで世帯の把握をしていると思うが、そういった情報は民生員などの行政機関と共有しているのか。また独居高齢者の訪問回数を増やすなどの対応はあるのか。

【回答】 民生委員などの行政機関との情報共有や情報提供をすることがあるのかということについては、これは基本的には行っていません。

巡回連絡で知り得た個人情報について、個人情報保護法の観点から、他機関への情報提供を行うのは極めて限られた場合に限定されます。

巡回連絡は、それぞれの警察官が、担当区域内の実態把握などを行うことを目的としています。したがって、独居老人世帯であることを巡回連絡により警察官が把握すれば、通常より多く、巡回連絡を実施していくものとなります。

【質問】 災害発生時などは独居高齢者に対する警察としての対策はあるのか。

【回答】 警察は、従来から、災害現場で組織的に活動し、情報収集・通信連絡から避難誘導、救出救助、行方不明者の捜索活動等を行っております。お尋ねの災害発生時における独居高齢者に対する警察としての対策ですが、巡回連絡に基づくものや平素からの自治体との情報共有等により、避難行動要支援者となる可能性のある独居高齢者等の把握に努め、避難誘導等を実施する際の参考としております。

また災害はその態様が多岐にわたり、臨機応変な対応が求められる状況となります。高齢者の方の中には足腰が不自由な方もいらっしゃると思いますので、現場で調達可能と思われる毛布を活用した担架の作成方法等について署員への教養を行っています。

【質問】 議題の中で、国際ロマンス詐欺が増えており、国際電話をストップするシステムがあるとあったが、具体的な操作方法について教えてほしい。

【回答】 国際電話を停止するには、国際電話不取扱受付センターに電話をかけるか、オンラインで申し込む必要があります。

また、スマートフォンや携帯電話では、迷惑電話ストップサービスやアプリを利用して国際電話の着信を拒否することもできます。

【質問】 議題の中で、自転車盗が増えているとあったが、自転車の防犯登録することのメリットは何か。

【回答】 自転車の防犯登録は、自転車の盗難防止を目的としており、自転車の所有者には義務づけられています。

防犯登録することのメリットは、盗難に遭った際の被害確認がすぐできる、自転車がどこかに放置されたりしていても所有者に連絡がいくので返還されやすいなどがあります。

自転車の盗難に関する被害届には、防犯登録がなくても車体番号がわかれば手配することは可能です。

【質問】 自宅周辺に普段見かけない人がいたり、ウロウロしているような人を見かけた際は警察に通報した方がいいのか、110番通報しないまでも相談することは可能か。

【回答】 不審者情報としてすぐに通報してください。

実際に、関東近郊で闇バイト問題にかかる強盗事件が多発して以降、不審者情報の通報は増えており、些細なことでも相談してください。

【質問】 法律の改正により、原動機付自転車の区分が変更になると聞いたが、原付免許で125CCバイクを運転できるという解釈でいいのか。

【回答】 原付免許で125CCバイクは運転できません。

令和7年4月1日から施行される改正道路交通法施行規則による原動機付自転車（原付）の区分については、令和7年11月以降新たに製作される総排気量50CC以下で設計最高速度が50km/hを超える一般原付に対し、大気環境保護と国際基準調和の観点から、新たな排ガス規制が適用開始することとなりました。

そのため、総排気量125CC以下の二輪車の最高出力を現行の原付と同等レベルの4.0kw以下に制御した二輪車（新基準原付）を原付免許で運転することについて検討された結果、両者を同じ運転免許区分とすることが適当と評価されたことを受け、二輪車の車両区分を見直すものであります。

この新基準原付については、今後新たな規格として製作された二輪車であり、現行の125CCを原付免許で運転できるということではありません。

【質問】 館山市内に大規模商業施設が開店し、交通量の増加や若者世代の利用者が夜間帯に集まっていることについて警察署として対策はあるのか。

【回答】同施設の開店、交通量の変化等は警察署で把握しており、特に深夜営業時間帯については警察官のパトロールを増やすなど警戒を強化しています。

【要望】交番や駐在所のミニ広報紙や県警だよりなどの文字が小さく読みづらい、広報紙は読んでもらえないと意味がないので改善してもらいたい。

また掲載内容も毎度同じようなものが多く、もっと工夫すべきではないか。

【回答】紙面の文字数にも限りがあるため、より多くの情報を広報したいと考えたと文字の大きさが小さくなっていることは事実ではありますが、ミニ広報紙については文字を大きくすることについて検討します。

掲載内容については、防犯情報など何度も繰り返し掲載することで対策が浸透する効果もあるため、ご理解ください。